様式第１号（第１０条関係）

2024年度業務実績報告書

提出日 2025年　1月　17日

１．職名・氏名　教授・桑原美香

２．学位　　学位　博士、専門分野　経済学、授与機関　広島大学、授与年　2003年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

① 財政学(4単位) 2年次以上配当

② 内容・ねらい

前半は財政の基本的な3つの機能について概観した。中間試験を行い、習熟度をみたうえで、後半は各論として、地方財政、租税、社会保障、国債について説明した。

また、経済・財政運営に関して概要を理解するとともに、103 万円の壁や新大統領就任後のアメリカの財政等、ホットな話題を盛り込みながら、自分なりの意見がもてるようにすることをねらいとした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

学習効果を高めるよう、下記３点の要領で予習・復習の時間設定を考慮した講義設計とし

(1)各講義の冒頭10分程度で前回のまとめを行うこと

(2)1テーマを3講義（現状、理論、課題と今後の政策）に分けて進め、各テーマ終了時に全体を通したまとめをすること

(3)受講生には講義前迄に教科書を読ませ、自身でレジュメを作成して提出させることで、講義当日を復習の場とする「反転授業」を導入すること

また、VTR 等を多用することで、昭和時代の状況を体感したり、映画等を用いて実際の現場で起こっている事象について触れられたりするよう工夫した。

① 経済学(2単位) 1年次配当　担当コマ数：1コマ

② 内容・ねらい

特に下記4点について得られるよう講義を設計した。

(1)経済学に関する基本的な考え方を理解できるようになること、(2)経済学が現実をみる上でどのように役立っているか理解できるようになること、(3)経済学が社会でどのように利用されているか理解できるようになること、(4)経済に関わる書籍をバランス良く読みこなす力を身につけること

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

講義は大きく 3 つのテーマを設定した。具体的には(1) 「財政学」の経済学的位置づけについて、(2)財政の3つの機能について、(3)日本の財政状況とこれからの日本、についてである。特に学びの基本として、①興味をもつこと、②疑問をもつことについて強調するとともに、高校までの勉強が、大学での学び、特に財政学の講義でどのように活かされるか、という点にフォーカスして講義を進めた。

① 外書講読(2単位) 3年次以上配当

② 内容・ねらい

“The ZERO Marginal Cost Society”をテキストとして輪読を行った。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

各担当者が事前に予習して翻訳してきたものを、講義中に確認しながら追加的な情報を加え、体系的に理解できるように工夫した。1つの章を読み終えた際には、振り返りとして、節ごとの要約を行うとともに、本文中に出てきた具体的な企業・サービス名等をリスト化させることで、日本では知られていないが世界的な企業・サービスについて学べるよう工夫した。

① 財政学特論演習Ⅱ・大学院講義　(4 単位) M2 年次配当

② 内容・ねらい

テーマを見つけて自身で参考資料等を検索し、文章化/発表する基礎力をつけることに主眼を置いた。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

修士論文『中国の財政調整制度が土地財政努力に与える影響』の執筆にあたり、論文構成や分析について指導した。新聞や雑誌等から得られたニュース等も引用することで新規性を持たせること、当初の研究動機から離れないよう助言した。

① 演習Ⅰ(4 単位) 3 年次配当

② 内容・ねらい

講義時間の前半は新聞を用いるなど時事問題についての議論、後半は『国際経済と地域経済』の輪読を行った。時事問題に関心を持つこと、簡潔にレジュメ化すること、整理したことを自分なりの言葉で発表すること、人の意見に対し質問、議論することを主眼においた。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

15 回の講義の初段階は、論理的思考についての実践と、分析手法に関する合同勉強会(廣瀬ゼミ)を行った。その他、六ヶ所村(青森県)での視察・調査と、その報告会を大学祭で行った。併せて、外部講師の招聘や他大学とのワークショップ等にも参加させたりすることで、インプットとアウトプットを循環させるように工夫した。NUMO(原子力発電環境整備機構)より高橋徹治様、柳原直匡様によるご講演とミニ実験(7/30 開催)、六ヶ所村現地見学会、視察・調査(9/10-11)北陸原子力懇談会コーディネートによるセミナー(日本エネルギー経済研究所 村上明子様)(10/10 開催：中井ゼミとの合同)、日本原子力産業協会による講義(杉山一弥フェロー)(10/22 開催)、足羽川ダム説明会および現地見学会(11/21 開催)、坂井市新丸岡城観光情報センター説明会および現地見学会(2/8)。

【ゲストスピーカー　　8人】
【フィールドワーク等　　3件】

① 演習Ⅱ(4 単位)　4 年次配当

② 内容・ねらい

受講生の興味ある分野について、卒業論文として整理するにあたり個別に指導した。特に卒業論文執筆のための指導では、課題抽出、仮説設定、検証、考察の一連の流れを自身で組み立てられるようになることが主なねらいであった。そのため、多様な情報を取捨選択して取り入れつつ、自身の考えを整理し、賛否を述べられるよう指導した。また、上記の講演会やセミナーにも参加させた。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

前期の講義は、3 年次の復習として分析手法に関する合同勉強会を行い、上記記載の講演会、視察等にも参加させた。後半は論文執筆に時間を割いた。テーマの絞り込みに際しては、概念の明確化や言語化ができるよう個別対応した。また、執筆した卒業論文を発表する場を設け、ゼミ内での発表会や、廣瀬ゼミ、藤野ゼミ他との合同報告会を開催することで、プレゼンテーション資料の作り方や発表の仕方についても学べるようにした。

【ゲストスピーカー(同上)　　8人】
【フィールドワーク等(同上)　　3件】

① 財政学特論・大学院　(2 単位) M1 年次以上配当

② 内容・ねらい

受講生に自治体職員等が多かったことから、実際の自治体での取り組みについても補足しながら、理論部分と現実とを行き来しながら学べるように設計した。テキストは『人口減少時代の公共施設改革』を用いた。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

新聞や雑誌等から得られたニュース等を紹介したり、先進的な取り組みを行っている自治体を取り上げたりしながら説明した。また、学会等にて収集した新しい論文等も参考資料とすることで、修士論文の執筆時に参考にできるよう工夫した。

(2)その他の教育活動
内容

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 【　本】
②学術論文（査読あり） 『地方自治研究』日本地方自治研究学会、第 40 号第 1 巻、2025 年 5 月 【　1 本】
③その他論文（査読なし） 『日本不動産学会誌』日本不動産学会、第 149 号、2024 年 9 月【招待あり】 【　1 本】
④　学会発表等 地方自治研究学会(2024 年 9 月 23 日）＠熊本県立大学 【　1 件】
⑤　その他の公表実績 【　本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績 【学外】 ①　地方自治研究学会研究部会(2023 年-2024 年度)
(3)特許等取得
(4)学会活動等
・日本地方自治研究学会　常任理事 ・地域公共政策学会　常任理事（論集編集委員長） ・日本財政学会 ・日本地方財政学会 ・公共選択学会 ・北東アジア学会 ・中四国商経学会 ・北陸地域政策研究フォーラム　運営委員

５．地域・社会貢献活動

①-1-1：総務省 地方行財政ビジョン研究会(2022年度～現在に至る)

①-1-2：北陸財務局 国有財産北陸地方審議会（2015年度～現在に至る）

①-1-3：北陸財務局 北陸地域連携プラットフォーム（2013年度～現在に至る）

①-1-4：北陸農政局 地域別農業振興計画審査委員会(2022年度～現在に至る)

①-1-5：北陸農政局 農山漁村振興交付金事業 評価委員会・委員長(2024年度～現在に至る)

①-1-6：近畿地方整備局 足羽川ダム事業費等監理委員会(2014年度～現在に至る)

①-1-7：金沢国税局 土地評価審議会(2022年度～現在に至る)

①-1-8：福井労働局 福井地方労働審議会(2019年度～現在に至る)

①-1-9：福井労働局 公共調達監視委員会(2022年度～現在に至る)

①-2-1：福井県 固定資産評価審議会(2016年度～現在に至る)

①-2-2：福井県 優良工事等事業者表彰選考委員会(2015年度～現在に至る)

①-2-3：福井県 敦賀港地方港湾審議会(2021年～現在に至る)

①-2-4：福井県 社会教育委員会(2022年～現在に至る)

①-2-5：福井県 特定調達苦情検討委員会（2022年～現在に至る）

①-2-6：福井県 都市マスタープラン改訂専門部会(2022年～現在に至る)

①-2-7：福井県 土地利用審査会(2023年～現在に至る)

①-2-8：福井県 福井県県民ホール指定管理者外部評価委員会(2014年～現在に至る)

①-3-1：福井坂井地区広域市町村圏組合・指定管理者選定委員会(2014年度～現在に至る)

①-3-2：福井市 公正入札調査等委員会（2007年度～現在に至る）

①-3-3：福井市 廃棄物減量等推進会議・委員長（2007年度～現在に至る）

①-3-4：福井市 市民協働推進委員会・委員長（2009年度～現在に至る）

①-3-5：福井市 身近なまちづくり審議会（2011年度～現在に至る）

①-3-6：福井市水道料金等徴収業務公募型プロポーザル審査委員会・委員長(2024年度)

①-3-7：大野市 行政改革戦略会議・座長(2013年度～現在に至る)

①-3-8：大野市 総合計画審議会・施策評価アドバイザー(2022年～現在に至る)

①-3-9：大野市 使用料等見直し検討委員会・委員長()

①-3-10：あわら市 行政評価外部評価委員会・会長（2012年度～現在に至る）

①-3-11：あわら市 公共施設総合管理計画設委員会・委員長（2023年度～現在に至る

①-3-12：あわら市 総合振興計画策定業務に係るプロポーザル選定委員会(2024年度

①-3-13：敦賀市 教育委員会自己点検ヒアリング(2018年度～現在に至る)

①-3-14：坂井市 総合計画審議会・委員長(2024年～現在に至る)

①-3-15：坂井市 総合戦略推進会議・委員長(～現在に至る)

①-3-16：坂井市行政改革推進協議会・会長(～現在に至る)

①-3-17：坂井市 ウォーターPPP導入可能性調査業務プロポーザル選定委員会・委員長(2024年)

①-3-18：坂井市 上下水道事業包括的業務委託事業者選定委員会・副委員長(2024年～現在に至る)

①-3-19：坂井市 新観光情報センター内テナント公募に伴う選考委員会・委員長(2024年度)

①-3-20：若狭町 公民連携推進協議会(2020年度～現在に至る)

①-3-21：永平寺町 都市計画審議会(2022年～現在に至る)

④-1：こしの都ＴＶ９チャン「丹南見聞録(コメント)」(2024年5月11～17日放送)

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
・教育研究委員会(2024～現在に至る)
(3)学内行事への参加
入試関連業務等
(4)その他、自発的活動など